

環境調査結果のお知らせ

令和7年10月14日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なケラチウム属が最高 で2 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ケラチウム 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
A 鳴無 (3.5m) 【11:27】	0	28.0	31.8	6.5	0	-
	2	27.6	31.9	6.6	1	-
	3	27.5	31.9	6.7	2	18,300
	5	27.6	32.3	5.6	0	-
	10	27.6	32.5	5.5	-	-
	底層 16.5	27.4	32.6	4.0	0	-
B 中学校前 (3.1m) 【11:21】	0	28.1	31.8	6.4	0	17,800
	2	27.6	31.9	6.4	0	16,600
	5	27.7	32.3	6.0	0	280
	10	27.6	32.5	5.3	0	420
	底層 16.5	27.4	32.6	4.4	0	0
C 目ノクソ (4.2m) 【11:09】	0	27.9	31.7	6.6	2	-
	2	27.7	31.8	6.5	0	-
	5	27.7	32.3	4.5	1	-
	10	27.5	32.5	4.8	0	-
	底層 15	27.4	32.6	4.4	0	-
D 光松 (4m) 【10:41】	0	27.7	31.6	6.9	0	17,000
	2	27.4	31.6	6.8	0	12,000
	5	27.7	32.3	3.5	0	9,900
	10	27.4	32.5	4.2	0	1,200
	底層 11.5	27.4	32.5	3.4	0	160
E 福良 (4m) 【11:02】	0	27.7	30.9	6.9	0	-
	2	27.6	31.8	6.9	0	-
	5	27.6	32.4	4.2	0	-
	10	27.4	32.5	4.4	0	-
	底層 11	27.4	32.5	4.6	0	-
F 大鹿 (3.9m) 【10:32】	0	27.6	31.4	7.1	0	-
	2	27.4	31.6	6.8	0	-
	5	27.7	32.3	2.2	0	-
	8.5	27.5	32.4	3.9	-	-
	底層 10	-	-	-	0	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 光松

E: 福良

F: 大鹿